

通告順	議席番号	通告者
1	17	鈴木邦昭

1 防災・減災対策

令和元年10月12日夜遅くから13日未明にかけて、台風の通過に伴い非常に激しい雨となり、阿武隈川や吉田川の流域で観測史上1位を更新する記録的な豪雨となった。仙台管区気象台では、宮城県に大雨特別警報を発表した。この件に関し質問する。

- (1) 台風や大雨により、躊躇なく町民への避難勧告や避難指示等を促す的確な情報発信の取り組みは。
- (2) 災害時、避難所の取り組みについて、3点質問する。
 - ① 身体に障害のある方々や高齢者の方々など、一般避難所が厳しい方などに対し本町の取り組みは。
 - ② 安全・安心の避難所体制の整備に向け、被災した女性のニーズに合わせた支援、小さな命を守るため乳幼児用の備蓄用品等の取り組みは。
 - ③ 避難所の万全な暑さ対策、防寒対策についての取り組みは。

2 高齢者の免許返納者に対する本町の取り組みについて

高齢者の免許返納者に対する一般質問は平成29年にも質問したが、答弁で前町長は「運転免許証を返納しやすい環境づくりを進める」と言う事であったが、どのような環境づくりをされたのか。また、今後本町の運転免許返納者に対する支援事業について、町長の考えは。

通告順	議席番号	通告者
2	1	小野一雄

1 集団移転団地の冠水対策について（下茨田地区内）

- (1) 下茨田地区集団移転団地内に設置されてある調整池が機能していない。どのようにして冠水防止を行うのか。
- (2) 排水ポンプを設置すべきではないか。
- (3) 大雨時における臨時駐車場の確保はどのように考えているのか。

2 防災無線について

- (1) 異常時における放送内容についてはどのような指揮命令によりおこなっているのか。
- (2) 放送内容のマニュアルは整備されてあるのか。

通告順	議席番号	通告者
3	6	大槻和弘

1 台風19号等の水害対応と今後の対策について

今般の台風の上陸により、近隣市町村において河川の氾濫や土砂崩れなどで甚大な被害を受けた。本町においても、床上浸水をはじめ、農業被害など多くの影響を受けた。

- (1) 台風19号においては、雨・風が強く防災無線が聞こえない地域があったと伺っている。防災ラジオは、住民周知に有効な手段と思うがその後の検討はどうなっているのか。また、緊急避難先として、近隣の小中学校等を有効活用できないか。
- (2) 避難が長期化になると、避難者のプライバシー確保が重要になるが、本町でのプライバシー用テントや段ボールベットなどを備蓄してはどうか。
- (3) 本町において、現在採石場が数か所あるが、土砂崩れ等の被害はあるのか、今後その対応・対策をどうするのか、住民及び消防団等の協議を行うべきではないか。

2 地方公務員法、地方自治法の改正に伴う制度導入について

国の制度改正により、行政区長制度が変更となるが、問題点も含め行政区と十分議論すべきと考えるがどうか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
4	2	鈴 木 邦 彦
<p>1 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）が本町にもたらす事業効果と今後の課題について</p> <p>平成 25 年度から平成 27 年度に行われた農山漁村地域復興基盤整備事業（農地整備事業）により、本町の農業はどのように変革していくのか、将来像をどのように描いているのか事業効果と今後の課題について伺う。</p> <p>2 認定農業者（担い手）への優遇策の構築について</p> <p>認定農業者の国の経営政策における位置づけは、経営諸施策の対象者として必須条件となっている。しかし、認定農業者制度の理解は十分であるとは言いがたく、評価もまちまちである。認定農業者がこの制度をいかに利用し、何を求めているのか、本町は、これまでどのような取り組みを行い、いかなる評価を受けてきたのか、町独自の優遇策の構築の考えはないのか伺う。</p>		